

『あなたの強みについて～入門～』

GL plus 講義録

あなたが使う時間のうち、もっとも多くの時間を仕事に費やすことが多いと思います。もしそうならば、あなたはできる限り才能が発揮できる仕事、そして卓越できる仕事をする方が良いのではないのでしょうか？今、あなたはどれくらいそうできているのでしょうか？

ポーカーが大好きなプロテニスプレーヤーがいました。もし彼がお金をかけて勝負するなら、テニスとポーカーのどちらを選択するでしょう？

同じようにもし大金をかけるなら、あなたが得意なことで勝負するべきでしょう。あなたは仕事に人生の多くの時間を使っています。これは大金を賭けているよりも大きいことではないのでしょうか？

だから最低でもあなたの得意なことが良いし、それが好きならもっと良いです。でも「興味がある」だけで選ぶ人も少なくありません。こうなると結果はどうなるかわかりません。仕事は人によっては人生のある時代のほとんどすべてを賭ける大きなゲームになる場合もあります。だから、「興味がある」と「得意である」ということの間には大きな違いがあるということを理解しておかなければなりません。

とりあえず目の前のゲーム（仕事）を始める前に、あなたは最初にどのゲームに参加するのかを発見しなければなりません。自分の内面と向き合い、どの分野ならあなたがもっとも発揮できて、どんなゲームなら「勝てる」可能性が高いのか。そして一番情熱をもてるのか。長い勝負になるので、それに情熱を持っていないらもったいない。

そのためには、**あなたは自分の強みにフォーカスしなければなりません。**それによって、あなたはその環境の中で優位を保てるし、仕事を通じて社会により多くの価値を提供できます。これが仕事の戦略の基礎となります。

もしあなたが今、自分の才能をほとんど生かせない仕事をしているなら、長い時間かけても、ほんのわずかにしか前に進まないかもしれません。そこが厳しい競争のある仕事なら、それは精神にダメージを負ったり病気になるったりして破滅の道となるかもしれません。必死にやったあげく毎日フラストレーションがたまる日々になるかもしれません。

だから自分の強みでなく、興味だけで仕事を選択すると、場合によってはあなたは一生懸命働きながら、わずかな収益しか得られない状況に自分自身を追い込むことになるかもしれません。

興味＝趣味

強み＝競争優位、、となります。

あなたの強みと情熱を生かせるように、仕事や人生のプランを変えていけば、あなたはより多くの価値を生み出せるし、より恵まれた状況になっていくはずですよ。場合によっては、あなたの強みを中心に、ゲームのルールさえ変えてしまう方が良いこともあります。

強みとは？

・**才能**：生まれ持ったり、3歳以下のときに発達させた特殊な能力。思考、感情、行動など。 ・**教育** ・**経験**：人生を通じて学んだこと。観察で得たもの ・**技能**・・・これらが組み合わせられたものがあなたの強みです。

【強み＝才能＋経験＋教育＋技能】で、あなたが信じられないほど上手に、簡単に、いつでも行えること。では、あなたは自分の強みをどれくらい知ってますか？

強みの特徴：得意であり、それに他人も気づいている。それをやるのが楽しい。それをやるときに生き生きしている。それを継続的に向上させている。

→**普通にやっても負けない場所で、やっていて情熱をいつも感じる場所に陣地をはるのがセオリーです**

そして、あなたが強みを生かして、情熱的に仕事をしたり、人生を生きていると、それは才能ある人たちをも引き寄せることができます。なぜなら、その人たちはあなたの強みから何かを学びたいからです。そして自分より大きなものの実現に関わりたいからです。あなたが正しく大きなものに向かっていけば、優秀な人たちもあなたを手助けしてくれることが増えるでしょう。

では、弱点どうするのか？

基本を簡単に述べておきます。弱点をチームで埋められないか？／アウトソーシングは？／弱点をひっくり返して強みとできないか？（営業が苦手なので向こうからくるしくみなど）／違う場所に移動して弱点を消せないか？（バレー部から陸上部など）／同じ仕事でもポジションを変えたらどうか？（高級店と量販店など）

つまり、強みを生かすとは、料理でその素材をより生かして美味しくつくるようなものです。あなたの才能を人生という時間のなかでどうやって生かしていくのか？ノープランや、周りに決められたプランだけでいいのか？自分のことは自分が一番情熱をもって生かそうとすべきでしょう。

もし今、あなたがあまり強みを発揮できない状況を選択しているのなら、その中でどう自分のステータスを上げていくかのプランが必要です。強みは顕在化しているものをどう生かすかという発想です。そしてあなたの潜在力はまだまだ果てしなくあります。